

○出発と移動

出発日は8月3日でした。JAL組は9:45発の飛行機に乗るために6:45に羽田空港に集合しました。始めは緊張した面持ちの高校生が多かったですが、みなさんともスムーズにチェックインとセキュリティを終えました。フライトは14時間ほどと長かったですが、充実した機内サービスで乗り切りました。到着後のe-gateでは数名の高校生が通ることができず、有人の列に並ばなければならなかったため、先に通れた組との合流に少々手こずることはあったものの、無事全員ホテルまでタクシーに乗ることができました。ホテルは非常に快適でしたので、みなさんゆっくり休むことができましたと思います。翌日はバスでオックスフォードに移動しました。Tazaki財団の語学研修生と、女子はBalliol Collegeに、男子はJesus Collegeに泊まりました。Balliol Collegeの宿泊場所はメインサイトから少々離れており、食事の際などは食堂に向けて10分弱ほど歩かなければなりませんでした。寮自体は静かなところにあり、勉強机、ベッド、シャワー、トイレが完備されていてとても快適な場所でした。



行きの機内食



オックスフォード初日の夕飯。パスタ、ミックスベジタブル、スイートポテト、キャロットケーキ



部屋の一例

○8月5日—8月7日 第1セッション

オックスフォードに到着した次の日から第1セッションの講義が始まりました。高校生の選択科目は以下の通りでした。

午前：

Homer, Latin Prose Literature, A level English, Jurisprudence, Maths

午後：

Tragedy and Human Rights, Latin Comedy, Contract, Maths, Further Maths

1日の流れとしては、8:00から朝食、9:30-13:00が午前授業、14:00-17:30が午後授業、その後は毎晩違うゲストの方を招いた講演と、夕飯でした。空きコマがある生徒さんは授業の復習をしたり、街を観光したりして過ごしていました。

講演



かつて皇后雅子さまのスーパーバイザーでもあった Sir Adam Roberts による特別公演に向けて集合している様子。テーマは Ukraine and the Middle East: Two Wars with some common causes.



法と、法の哲学の教授である Professor Sandy Steel による講演の様子。テーマは Rights, Remedies, Self-Defense

○8月8,9,12日 第2セッション

1日の流れは第1セッションの時と全く同じままで、科目だけが変わりました。第1セッションと同じ選択肢もありますが、新しい科目も加わりました。

午前 : Tragedy and War, Latin Literature Verse, Anthropology and Classics, Human Rights, Maths, Contract

午後 : Homer, Mythology, Second Sophistic, Roman Law, Administrative Law, Maths, Further Maths

授業の様子の例



Alec 先生による、contract の授業の様子です。(第2セッション最終日) 授業の前半では、1,2日目に学んだ contract の知識を使って、映画やドラマなどのサブスクリプション会社と制作会社との間の取引をロールプレイで再現していました。後半では、4つのチームに分かれてボードゲームを行いました。ゲーム内では、自分のチームに利益をもたらすために相手チームと交渉しなければならない場面が多々あり、これまでに習った内容を存分に発揮できるゲームでした。ルールがかなり多いため、スマートフォンでルールの紙の写真を撮り、都度確認している様子が見受けられました。

講演も引き続き行われました。



学部はケンブリッジ大学を卒業し、その後オックスフォード大学で医学を学ばれた高田絢子医師による講演の様子。テーマはイギリスで学び、働くということ。高田先生自身の経験を語ってくださり、今の高校生に向けたメッセージも込められていました。講演後は高校生からの質問が殺到しました。



日本で大学を卒業されたのち、イギリスで法学に関する修士号を2つ取得なされた、中川ひとみ裁判官による講演。テーマは、イギリスと日本の裁判について。



また、9日の金曜日には、夜にオックスフォードの castle and prison で開催されたシェイクスピアのハムレットの劇を見に行った方が多数いました。屋外での劇でしたので、日が落ちてからはかなり冷え込みましたが、迫力満点の劇に感動しました。

○週末の過ごし方

週末は、オプションツアーがある日はツアーに参加する生徒が多く、ない日は各自で観光したい街を選んで出掛けて過ごしました。

8月10日

オプションツアーの行き先はコッツウォルズ地方でした。移動は貸切バスにて40-50分ほどでした。



始めに、Sibford Gower Meeting Houseにて、クエーカー教徒についての講義を受けました。Zoe Simms先生はとても講義中にクイズを入れるなどしてインタラクティブなセッションをしてくださったので、楽しく聞けた生徒さんが多かったかと思っています。



お昼ご飯はパブでビュッフェ形式でした。

午後は中世からの歴史を持つブロートン城に行きました。ここでは2つのグループに分かれて建物の案内を受けました。



ブロートン城にまつわる人のみの肖像画が飾られた廊下を見学する生徒たち。



壁がオーク（広葉樹の一種）からできているため、オークルームと呼ばれている部屋。過去に何度か映画の撮影場所として使用されたそうです。



ガーデンを見学する生徒たち



帰り際にはブロートン城のカフェで美味しいスコーンと紅茶をいただきました。屋外と屋内両方に席がありました。

8月11日

この日はオプションツアーがなかったため、生徒が各自観光したい場所によってグループに分かれました。この日の主な行き先はバスとロンドンでした。

○Balliol フォーマルディナー

順番が前後してしまいましたが、12日は第2セッション最終日であると同時にオックスフォードにいる最終日でもありました。Balliol College, Jesus College 両方の生徒さんたち、そして講義をしてくださった先生方も交えてフォーマルディナー（3コースディナー）で締めくくりました。なるべく講義を受けた先生のそばに座るとのことだったので、先生方と興味深いお話ができたのではないのでしょうか。



フォーマルの様子



○ケンブリッジへ移動

8月13日はケンブリッジに移動しました。ここでは、Tazaki 財団の語学研修生は Downing College, その他の生徒は Kings College に宿泊しました。到着してから午後は、St John's College にて、ケンブリッジ大学の特徴などについての解説がフェローの方からありました。また、日本の高校から St John's College に入学できる制度についての言及もありました。その後は St John's College 内を見学しました。

○8月14-16日 第3セッション

第3セッションも、授業の時間は第1,2セッションと全く同じでした。科目は以下の通りでした。高校生と大学生が混合だった過去の2セッションと比べると選択肢は少なくなりました。また、夜にあった講演はケンブリッジにいる間はありませんでした。その分夕方に自由時間が増え、復習や散歩に時間を使えたのではないのでしょうか。

午前：Art and History, Torts, English Legal System, Computer Science

午後：Physics, Computer Science



ケンブリッジ初日の夕飯



食事中的様子



朝ごはんの一例



授業後の自由時間に、ケム川でパンティング（川底を棒で押して進む）をする生徒たち

授業の様子为例



Luna 先生の物理の授業（2日目）の様子です。基本的な微分積分から始まりましたが、偏微分や固有ベクトルなど大学数学の内容も紹介されました。これらの数学的ツールを物理に当てはめていくというスタイルの授業でした。



休憩中にわからないところがある生徒に丁寧に対応されていました。

○English Legal System London Tour

第3セッションの初日に、English Legal Systemを選択していた生徒はロンドンの最高裁判所を見学に行きました。最高裁判所内では、ここで取材を30年ほど続けられてきたジャーナリストの方が案内してくださいました。写真撮影厳禁でしたので、建物内での写真はありませんが、非常に大きな建物で、それぞれのセクションでわかりやすく解説をしていただけました。



最高裁判所を撮影する生徒たち



お昼ご飯は公園でピクニックをしました。

午後は、法廷弁護士の方がいらして、法廷弁護士として働くことになった経緯や、仕事内容についてのトークをしてくださいました。



トーク後に直接法廷弁護士の方にお話しに行く生徒

○Downing フォーマルディナー

第3セッション最終日には各自泊まっているカレッジにてフォーマルディナーがありました。Downing College では、ディナー後に葛西先生との意見交換会も開かれました。



○週末の過ごし方

8月17日

この日はオプションツアーがなかったので、各自行きたい場所にグループになって向かいました。主な行き先は、ロンドンでのサッカー観戦とミュージカル鑑賞でした。

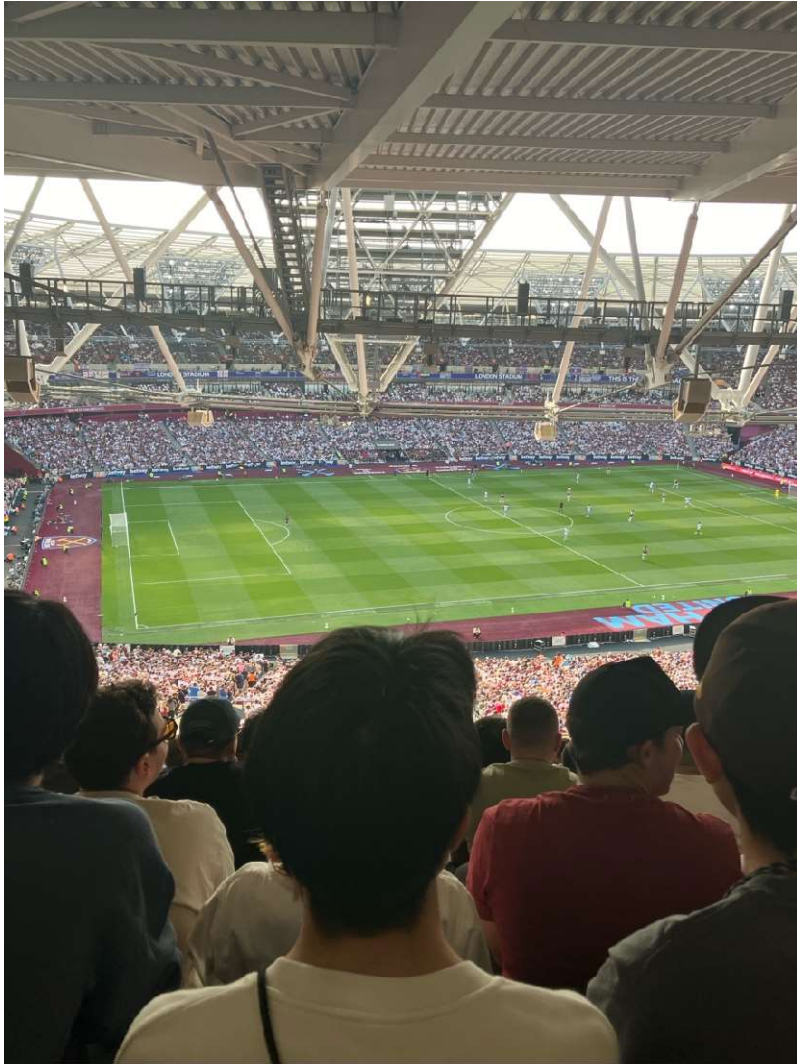


サッカー観戦組は午前中に大英博物館に行きました。

午後は、ビッグベン周辺で自由行動を取りました。



ビッグベンの前で記念撮影をしている生徒たち



その後サッカーのスタジアムに向かいました。イギリスはサッカーの本場なので、試合会場の雰囲気も迫力満点でした。

8月18日

オプションツアーはケンブリッジ近郊 Holkham Hall, Holkham Beach, Norfolk, Sir Edward Coke の Estate とノーフォークの海岸というテーマでした。大多数の生徒が参加しました。

○最終日と帰国

最終日の午前中は、ケンブリッジ観光に充てられました。お土産を買う生徒、観光地に向かう生徒など時間の使い方はさまざまでした。



キングスカレッジのチャペルを観光する様子

ケンブリッジを出たら貸切バスで空港に向かい、チェックインとセキュリティーもスムーズに通りました。行きと同様、充実した機内サービスでフライト中も比較的快適に過ごせました。



帰りの機内食

羽田空港到着後もスムーズに荷物回収と税関をクリアし、到着ロビーへと向かいました。